

Yahoo!ニュース、コメント欄非表示機能導入後の状況を公表

～導入開始から1日あたり平均3.5件のコメント欄が非表示に
今後も改善を続け、
違反投稿対策の強化と透明化に全力を尽くす～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は本日、日本最大級のインターネットニュース配信サービス「Yahoo!ニュース」が提供する「Yahoo!ニュース コメント」（以下、コメント欄）にて2021年10月19日から導入したコメント欄非表示機能（※1）の導入後の状況を公表しました。導入開始から12月18日までの2カ月間において、コメント欄が非表示となった記事数は合計216件で、1日あたり平均3.5件でした。1日あたりの配信記事数に対して0.05%程度です。



「Yahoo!ニュース」は、ユーザーがニュースに関する多様な意見を共有しあい、新たな視点を得るきっかけを創出することを目的として、コメント欄を2007年から提供しています。「Yahoo!ニュース」では、以前より誹謗中傷などの内容を含む投稿を禁止し、コメントポリシー（※2）に違反投稿の具体例をわかりやすく明示しています。24時間体制の専門チームによる人的なパトロールに加えて、自社で開発した「深層学習を用いた自然言語処理モデル（AI）」（※3）などのテクノロジーを駆使しながら、誹謗中傷をはじめとする違反投稿を1カ月で約35万件削除するなどさまざまな対策を行っています（※4）。

こうした対策を講じている一方で、一部のコメント欄においては、「Yahoo!ニュース」が目指している上述の目的を実現できていないという課題がありました。そこで「Yahoo!ニュース」では2021年10月19日より、一定以上の投稿数のある記事のコメント欄を対象に、AIが判定した違反コメント数などの基準に従い、コメント欄を自動的に非表示とする機能を導入しました。

「Yahoo!ニュース」では、ユーザーが安心してサービスを利用できるように、コメント欄非表示機能において客観的かつ恣意性のない措置基準を設けるとともに、本機能による措置が適切に実行されているかについて有識者など外部の意見を伺って検証し、透明性をもって社会に示していくことが重要であると考えています。そこで、本機能の導入を開始した2021年10月19日から12月18日までの2カ月間で非表示となったコメント欄について透明化するために、本プレスリリースで状況を公表しました。

また、有識者会議を実施し、コメント欄の非表示措置の基準や導入後の状況について意見をいただき検証を行っています。

本機能導入後の状況および有識者の意見は、以下の通りです。

■コメント欄が非表示となった記事の件数や割合

2カ月間でコメント欄が非表示となった記事数は合計216件で、1日あたり平均3.5件でした。集計期間中に媒体各社から「Yahoo!ニュース」へ配信された記事数は、1日あたり平均7,511件で、コメント欄が非表示になった記事の割合は全体の約0.05%です。



■コメント欄が非表示となった記事の媒体種別

2カ月間でコメント欄が非表示となった記事を媒体種別に検証したところ、件数が多い順に一般紙・通信社が47件、週刊誌が42件、テレビが41件、ネットメディアが37件、スポーツ紙・タ刊紙が31件、海外メディアが18件という結果でした。

なお、本機能の導入にあたり恣意性を排除するため、AIが判定した違反コメント数など客観的な指標を用いた基準に従い、コメント欄を自動的に非表示としています。当該基準を用いて非表示となったコメント欄を検証した結果、媒体の種類や記事の内容などを問わず、さまざまな記事のコメント欄が措置の対象となっていることが判明しました。

非表示となった記事の媒体種別

テレビ	41件
一般紙・通信社	47件
海外メディア	18件
スポーツ紙・夕刊紙	31件
週刊誌	42件
ネットメディア	37件

集計期間：2021.10.19 - 2021.12.18

■有識者からの意見

本件の検証にあたっては、誹謗中傷対策などの方針を策定するためYahoo! JAPANが2020年に実施した「プラットフォームサービスの運営の在り方検討会」（※5）の有識者へ意見を伺いました（※6）。本検討会では、「Yahoo!ニュース」より有識者へ、コメント欄非表示機能の措置基準や導入後の状況、社会における反響などについて説明しました。

そのうえで有識者からは、コメント欄の非表示措置は、コメント欄に誹謗中傷などの投稿が集中しているような状況において、一定の有効な手段であるという意見をいただくとともに、恣意的な運用とならないように非表示とする際の基準を明確にし、かつ、なぜこうした基準を採用するのかという理由を対外的に説明し尽していくことを前提に、本機能による施策を継続していく点についてもご支持いただきました。

また、コメント欄の非表示措置は、建設的な意見も事実上削除してしまうことから慎重さが求められるため、違反者や違反投稿への対策をこれまで以上にきちんと両輪で進めるべきであった、コメント欄の非表示措置に限られない今後の対策についても適切に推進することを要望する意見をいただきました。

「Yahoo!ニュース」では今後、有識者からいただいた意見を踏まえて、コメント欄非表示機能についての透明化確保に取り組み、多くのユーザーが安心してサービスを利用できるように継続的な改善を行います。そして、コメント欄で投稿される多様な考えや意見によって、ユーザーがニュースに対する興味や多角的な視点を持つきっかけを提供するとともに、日本のインターネットにおける健全な言論空間を構築し、より良い社会の実現に向けて全力を尽くしていきます。

※1：[Yahoo!ニュース、コメント欄の健全化に向けた取り組みを強化](#)（2021年10月19日発表）

※2：[Yahoo!ニュース コメントポリシー](#)（2021年3月25日改定）

※3：[大規模深層学習モデルによるYahoo!ニュース「不適切コメント」対策](#)（Yahoo! JAPAN Tech Blog）

※4：[Yahoo!ニュース コメント 取り組みまとめ](#)

※5：[Yahoo! JAPAN、個人に対する誹謗中傷などを内容とする投稿への対応や今後の方針を策定](#)（2020年12月23日発表）

※6：2021年12月3日に実施